

## 初めての一般質問

12月議会の3日目。12/19AM.10:00  
市議初めての壇上に。

「まちづくりを考えるにあたって、市民意識の高揚と行政の対応について」

2回に分けて発言し、市長さんから20分間に亘って所見をいただきました。

市長さんは難しい質問だと、予め事務局が用意した答弁書を一通り読み上げられ、一般質問に対する考え方を交えながらお話しをされました。

＜市長さんの発言＞

一般質問では、行政の提案する案件や報告に対し、もう少し議員からの質問や所見を期待しており、その上で議論が交わされ討論が行われて、それを予算に反映する形が取られればと思っている。

行政と市民によるまちづくりについては、その内容毎に行政の担当者が市民に應對しているのが通常で、担当外の関与することは無く縦割りの形はどうしても免れない。本来は関係する人達一体であるべきであろう。として成功例に大分県湯布院を取り上げられた。



野田みこしパレード



初登壇……。

湯布院では活動する市民、企画立案するコーディネーター、予算の心配をするスポンサー

が三位一体で連携し、連帯した事業展開が賑わいのあるまちづくりを成功させている。

以前には行政がスポンサーやコーディネーターであったこともあるが、最近ではそうもいかないだろう。行政は市民の活動の中で、偏向せず片寄

りのない、多くの市民に受け入れられる発展的な活動について、積極的にバックアップすべきと考えている。ゴミ減量・福祉関係団体の活動・自然保護・文化、スポーツ活動などの取り組みには、大切にして更に発展ができるよう後押しをしていきたい。偏ることなく業務それぞれに市民・行政が役割を分担しあって、まちづくりを進める事が必要と思う。今回の質問で自身が助役時代、事業推進を急ぐあまり、先行しすぎて失敗したことも思い出されたが、どうも最近全般に安定安寧指向にすぎるきらいもあり、事にあたっては結果を恐れずの気持も大切ではないかと思う。多くの市民の燃え上がる意識を大切に、もう一度出発点に戻り市民パワーとの行政のかかわりについて考えてみたい。

